

授業科目名： 国際政治の理論と方法			担当教員名： 山本吉宣
選択必修： 選択	単位数： 2	セメスター： 1 後	開講言語： 日本語
○授業の到達目標及びテーマ 本授業の目的は、国際政治の理論と方法に関する基本的な知識を教授し、国際政治に関する様々な研究を実施する能力を養うことである。			
○授業の概要 本授業では、マクロ・ミクロ両面における国際関係理論を取り扱う。ここでは、リアリズム、リベラリズム、構造主義、コンストラクティビズムなどのマクロ国際政治理論と対外政策論、政策決定論などのミクロの国際政治理論を紹介し、マクロ的な国際関係理論と外交政策との相互関係に関しても議論を行う。			
○授業の方法 毎回の授業では、簡単なレジュメを基に担当教員が講義を行い、さらにそれに基づいたディスカッションを実施する。受講生は下に示された文献に前もって目を通し、積極的にディスカッションに参加することが求められる。 さらに受講生は（約 4000 字の）ターム・ペーパーを提出する。ターム・ペーパーのテーマは、（必要に応じて）担当教員との相談のもと、学生自らが選択する。			
○授業計画 第1回 授業の紹介 第2回 古典的な国際政治（ウェストファリア体制） 第3回 古典的現実主義 第4回 ネオリアリズム・ネオクラシカルリアリズム 第5回 リベラリズム（3つのリベラリズム） 第6回 制度リベラリズム、商業リベラリズム、共和制リベラリズム 第7回 リベラル国際秩序の形成、維持、動揺 第8回 構造主義 第9回 中国の台頭と国際政治の構造 第10回 コンストラクティビズム（生成と発展） 第11回 規範、アイデンティティ、アイディア 第12回 対外政策（マクロの国際政治理論との関係） 第13回 政策決定論（アリソンの3つのモデル） 第14回 国家間の相互作用（ゲームの理論） 第15回 まとめ			
○テキスト ・大芝亮『国際政治理論』ミネルヴァ、2016年 ・中西、石田、田所『国際政治学』有斐閣、2013年			
○参考書・参考資料等 授業中に紹介する。			

○学生に対する評価

- 1) ディスカッションへの参加度：20%
- 2) タームペーパーの口頭発表等：20%
- 3) タームペーパー：60%